月刊 あなたにこの本を！ 平成19年5月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。

・・・字が大きめ　・・・中高生にも　・・・図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

家縁 ―大阪おんな三代―

今井美沙子　著
作品社　1890 円　(0011347347)

ジャンル ： 大阪にゆかりの本

血縁でも地縁でもなく、結婚や養子縁組によってつながる家族の縁が鮮やかに描かれる。大阪帝塚山の今井家に結びつけられたのは、働き者の大姑(おおじゅうとめ)トク、趣味人で家事下手の姑すま、その両方にかわいがられた嫁の著者。一つ屋根の下での「女三人よれば姦(かしま)しい」暮らしには、楽しいことも、時には埋めがたい溝や反発もあった。生きる上で大事なことを教えてくれた姑たちの思い出を、三人が好んで用いたことわざに寄せてつづる。〔288.3〕

俗曲師うめ吉のニッポンしましょ！

桧山うめ吉　著
毎日新聞社　1470円　(0011334431)

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

俗曲師とは寄席で三味線を弾き、江戸から昭和にかけての昔の唄(うた)をうたう芸人のこと。日本髪を結い、着物が普段着の著者は、地方のサラリーマン家庭に生まれ、純邦楽とは無縁な環境に育った。自分探しの果て、芸者衆の踊りを見て和の世界に目覚める。長唄、寄席囃子(ばやし)、日本舞踊とすべてゼロからのスタートながら、寄席に出演し、米国ツアーを行うに至るまでをつづる。ニッポンの魅力を再発見してみませんか。〔768.5〕

恋に導かれた観光再生 ―奇跡のバリアフリー観光誕生の秘話―

中村　元　著
長崎出版　1470円（0011329558）

ジャンル ： 現代社会を見つめる

はじまりは車椅子の青年への恋心だった。一人の娘が青年のために作成したガイド「おでかけ！チェアウォーカー」。それを発端として、主婦から行政までをも巻き込み、誕生したのが伊勢志摩バリアフリーツアーセンターである。本書では当センター理事長である著者が、地域間競争に苦しむ鳥羽市の観光再生への道のりをつぶさに描いている。まちとはだれのものなのか？ センターの活動を通じて、住民の手によるまちづくりの大切さを痛感させられる。〔688〕

それでも「好きなものだけ」食べさせますか?

田中葉子、鈴木正成、村田光範、福岡秀興、室田洋子、
NHK「好きなものだけ食べたい」取材班著

ジャンル ： 子どもの成長のために

日本放送出版協会　1680円（0011354686）

子どもの食が乱れていると言われているが、実際に子どもたちはどんな食事をしているのか。一週間の食事の「写真記録調査」、町ぐるみの食育の取り組みなど、様々な取材をもとに、子どもの食の実態にせまる。その結果、好きなものだけ食べ、また親が食べさせている現状が判明した。この危険性を訴え、食生活を改善するためのヒントを教えてくれる。子どもだけではなく、大人たちの食卓も見直すよいきっかけになるのでは。〔498.5〕

千年、働いてきました　ー老舗企業大国ニッポンー

野村　進　著

ジャンル ： 現代社会を見つめる

角川書店　740円（0011312451）

飛鳥時代創業の寺院建築会社など、日本には創業100年を超える老舗企業が多くある。著者はそれらの中で本業を発展させ、最先端技術の分野で活躍する20社を取材した。ナノサイズの部品を貴金属で創り出す元両替商。米からアトピーの薬を生み出した酒造会社。これら企業に共通するのは、精神的なよりどころとして家訓が生きているところである。「不義にして富まず」など、インタビューのなかで社長がもらす一言に、老舗の誇りが感じられる。〔509.021〕

世界遺産が消えてゆく

中村俊介　著

ジャンル ： 現代社会を見つめる

千倉書房　1890円（0011341326）

世界遺産が危機に瀕(ひん)している。その原因は戦争や自然災害だけではなく、観光資源化が優先され、後世に伝えるという遺産登録の意義そのものが薄れてきているためだと著者は指摘する。岐阜県の白川郷では、合掌造りの家々を守ってきた地域社会が観光化の波にさらされ壊れつつある。世界各地でも起こっている現象に本書は警鐘を鳴らす。遺産登録は必要なのか、本当に守り伝えなければならないものは何なのかを、改めて問う一冊。〔709〕

世にもおもしろい狂言

茂山千三郎　著

ジャンル ： 歴史・文化に親しむ

集英社　714円（0011332790）

著者は大蔵流の狂言師。本業以外にもラジオのDJやミュージカルの演出など、多彩な活動で知られている。本書は狂言鑑賞の入門書だが、そのイロハを書くだけではなく、狂言が時代と共に変化してきた面を見据え、変化する芸能として紹介している。例えば、ポップスのヒット曲を取り入れた狂言などの存在は、古典としての狂言しか知らない人には驚きだろう。著者のさわやかな語り口も心地よく、肩のこらない一冊に仕上がっている。〔773.9〕

声が生まれる　ー聞く力・話す力ー

竹内敏晴　著

ジャンル ： 生き方・考え方に学ぶ

中央公論新社　777円（0011354051）

著者は幼いころから耳が不自由で、新薬の開発により16歳の時に聴力を獲得した。それ以降、相手のことばを聞き取り、また伝えることに人一倍懸命に取り組んできた彼は、相手に届く声を出すためのワークショップを主宰している。そんな彼の半生やワークショップの内容は、他人とうまくコミュニケーションが取れないと悩む人に、一筋の光となるのでは。ことばとは何か、人が人に話しかけるとはどういうことか、深く考えさせられる。〔809〕